



第11号 H30年11月

つながり

～下志津病院ボランティア通信～

《講習会の様子》



10月31日(水) ボランティア講習会

10月31日にボランティア講習会を行い、11名のボランティアさんにご参加いただきました。

今回は、当院平山栄養管理室長からの講話と傾聴ボランティアサークル「うさぎの耳」の山本ゆりこ様の「傾聴について」の講話、その後グループに分かれて傾聴のロールプレイを行いました。



栄養管理室長からの講話は病院の食事についての話があり、写真をみながら、普段入院されている患者様がどのような食事をされているのか、食事の内容も患者様によって細かく分類されている事、季節の歳時ごとに合わせた献立が作られていること等を聴いていただきました。



傾聴ボランティアサークル「うさぎの耳」山本ゆりこ様からは、傾聴についてのお話と3人ずつのグループに分かれて「話し手」「聴き手」「観察者」3役を交代しながら体験してみました。そこではそれぞれの立場を体験することで、どのようにすればよいのかを学びました。



傾聴を始める前に「聴き手」は「話し手」が話しやすい雰囲気で作せるように座る位置を考え、この位置でよいか聞いてみる。

「聴き手」はアイコンタクトをとりながら、話を聴き、話の妨げにならないように気を付けながら、話を引き出すような会話をします。更に内容に同調するのではなく共感をしていく。

「観察者役」は、二人の様子を見ながら、どのように進行するとよいのかをみていく、ということを経験しました。参加した方達は、悩んだり話し合ったりしながら三役を体験しました。話が終わった後には「話し手」が明るい気持ちになれるようにする等アドバイスいただきました。



ボランティアさんの感想

- ・患者さん、個々に合わせての食事作りに感心した。
- ・入院中の楽しみである食事の事や行事食の献立への配慮がわかった。
- ・いろいろな献立が工夫されていることを知ることが出来た。
- ・傾聴は難しかったが身近でやってみたい。
- ・傾聴の難しさを知った。
- ・とても勉強になった。



ご参加いただいた皆様ありがとうございました。これからも皆様に喜んでいただけるような講習会を企画して参りますので、ご参加をお待ちしております。



下志津フェスティバルにご協力下さり ありがとうございました!!



8月22日(水)に、筋ジストロフィー病棟・重症心身障害病棟合同行事「下志津フェスティバル」が開催されました。当院の夏の恒例一大イベントとしてお馴染みとなった本行事は今年で6回目となり、毎年多くのボランティアさんにご参加いただいております。今年も毎年参加してくださっている方、定期的に当院でボランティア活動をされている方、初めて下志津フェスティバルに参加したという看護、栄養、福祉を学ぶ学生さんなど総勢88名のボランティアさんにご協力いただきました。カラオケ、わたあめ、ゴルフ、ゆるキャラのサポート、じゃんけんなどの各ブースを楽しく盛り上げ、患者さんと各ブースをまわっていただくなど活躍は多岐にわたりました。

ボランティアさんの笑顔や優しさにより、患者さん、ご家族、職員も更に盛り上がり、楽しい笑い声が溢れる賑やかで心温かい1日となりました!

また来年も開催を予定しております。ボランティアの募集は例年7月頃より開始しております。来年もたくさんのご参加、お待ちしております。



当日は総勢88名の
ボランティアさんが
参加してくださいました。
楽しい夏の思い出を
ありがとうございました!



問い合わせ先
電話 043-422-2511
アドレス shidou@simosizu2.hosp.go.jp
受付時間 平日 9:00~17:00

下志津病院ボランティア委員会



つながりクイズ!!

今回、下志津フェスティバルのボランティアさんを募集した時に参加希望者は何人いたでしょうか?

- ① 100人以内 ② 150人以内 ③ 150人以上

● 答えは次号で!!

